

献血者の検査値および保管検体の利活用に関するアンケート

ご協力をお願い

日頃より、日本赤十字社の血液事業へご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

弊社では、保有する献血者の検査結果等の情報を国民の健康増進に有益な情報として還元することを目的として、「献血者血液検査結果の集計」として情報を公開しました。また、同様の目的として、11年間の保管期限を終えた献血者血液の有効活用について検討しています。

そこで、献血者の情報や血液検体の利活用について、皆様のご意見をお聞かせください。

当アンケートにつきましては、下記 URL にアクセスいただきご回答ください。もしくは、弊社事務局宛に FAX や E-mail で送信いただいても差し支えありません。

お手数ですが、令和3年9月30日(木)までにご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【回答先】

・ URL : <https://forms.office.com/r/kJjVMpAL7L>



・事務局

日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 研究開発部 研究支援担当

F A X : 03-5534-3776

E-mail : kenkyu1@jrc.or.jp

《回答者の情報について》

Q1 支障のない範囲でご回答ください。

職名	
分野	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> その他

《献血者の検査結果について》

Q1 「献血者血液検査結果の集計」はご覧になりましたか。

- はい いいえ

Q2 Q1で「はい」と回答された方に伺います。

掲載された情報以外に希望する情報や表示方法などありますか。

- はい

[]

- いいえ

Q3 献血者の検査情報の利用、もしくはこれらの情報に関する更なる解析が考えられる場合、その内容を教えて下さい。

[]

《11年保管した血液検体の利用について》

日本赤十字社では、献血後情報の発生時及び医療機関から輸血後の副作用・感染症報告等があった場合に再検査ができるよう、全献血血液の検体を11年間冷凍保管しています。保管期限を過ぎた血液検体についての有効利用について検討しています。

血液検体(約6ml)は採血後に遠心され、血清(約3ml)及び血餅を-20℃の条件で冷凍保管しています。保管期限の11年を過ぎた血液検体が今回の対象血液検体となります。これらの血液検体には、検査結果等の情報が紐づいています。

Q1 血液検体を研究等で利用したいと思われますか。(複数回答可)

- はい(血液検体のみ) はい(血液検体とそれに紐づく情報) いいえ

Q2 Q1で「はい(血液検体のみ)」と回答された方に伺います。

(1) どのような分野での利用を考えますか。

- 研究 研修会等 クオリティーコントロール等 その他

(2) 血液検体を利用される場合、具体的にどのようなテーマや内容での利用を考えますか。

[]

(3) どのような提供方法を希望されますか。

[例) ランダムに〇〇本程度。△△の様な検体を〇〇本。など]

Q3 Q1で「はい(血液検体とそれに紐づく情報)」と回答された方に伺います。

(1) どのような分野での利用を考えますか。

- 研究 研修会等 クオリティーコントロール等 その他

(2) 血液検体とそれに紐づく情報を利用される場合、具体的にどのようなテーマや内容での利用を考えますか。

[]

(3) どのような提供方法を希望されますか。

例) ~の情報と検体を〇〇本程度。△△の値が□□以上の検体を〇〇本。など

ご協力ありがとうございました。